

基本動作 ⑨ 魚の表面が乾いていますとウロコが皮に張り付き取り難い事があります、  
水などを掛けておいてからご使用ください。

鯛は図1もしくは図2

小鯛は図3

図1

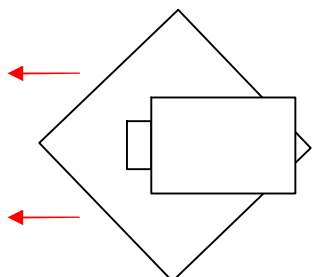


図2

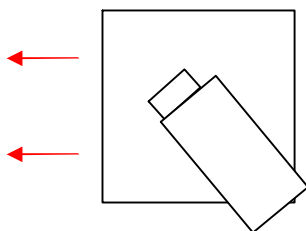
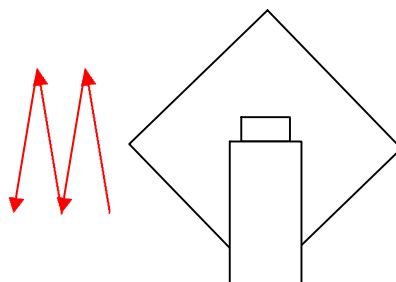


図3



鮎・鯉などは図4～図5

ブリなど大きいものに図6

図4

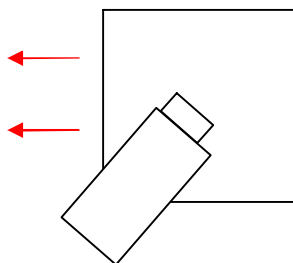


図5

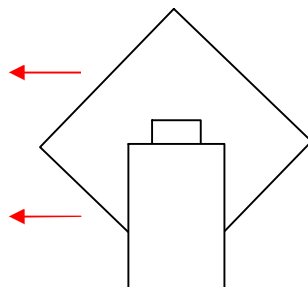
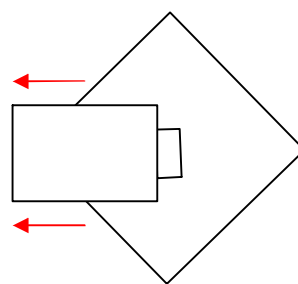


図6



⑩ 鮎などは、塩もみをしてヌメリをとってから使用してください。

## 取り扱い説明

1. 水を張った角バットまたはボールを用意してウロコやヌメリが取れたら、鱗トルを軽くゆすぎながら使うとキレイに作業できます。
2. 鯉など鱗の細かい魚は、鱗を取るのとは逆方向に動かしヌメリを取ってから使用ください、(ヌメリを取ることによってゴムの摩擦が活きます)
3. 1キロ以下の鯛のウロコは、やわらかめで逆さになりやすいので、逆さになりましたら図4で使用する面を使い背から腹に向けスリ取ってください。
4. 魚の鮮度・産地によって多少取りやすい、取りづらいなどあります。
5. 図6は、力が入りやすく大きい魚を使用するときにオススメします。

※ その他状況に合わせてご使用ください。